

1日の救急出場件数が過去最多を記録

令和4年7月18日の救急出場件数が173件となり、過去最多となりましたので、お知らせします。

6月末から7月にかけて、気候の変動が激しく体調を崩しやすいことや新型コロナウイルス感染症の感染拡大などが原因と考えられます。これから夏本番を迎えますが、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に併せて、熱中症予防対策にも注意し、お過ごしください。

【搬送状況】

- 6月の熱中症疑いによる救急搬送者数は88人で、昨年同時期（29人）に比べ、3倍以上増加しています。
- 6月の熱中症疑いによる重症者は5人（昨年同時期0人）発生しています。
- 令和4年上半期（1月～6月）救急出場件数は、19,540件（速報値）で過去最多を記録する見込みとなります。
- 新型コロナウイルス感染症の陽性者搬送件数は、7月4日～10日の週と比較して、7月11日～17日の週は約3倍増加しています。

【注意喚起】

- 気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外しましょう。
- 新型コロナウイルス感染症を予防するためには、冷房時でも換気扇や窓開放によって換気する必要があります。
- 熱中症は正しい知識を身につけることで未然に防ぐことができます。予防対策として、日陰や涼しいところで休憩をとること、こまめに水分補給を行うこと、屋外では帽子をかぶることなどに心がけてください。

問合せ先
消防局警防部救急課
042-751-9142
対応責任者 野口